事務事業調書	No	801	課 名	文化財課	起 案 者	伊藤基之
平成23年度			係 名	文化財係	決 裁 者	杉浦講平
事 業 種 別	市民サービス		区 分	継続	業務一覧No	8,21,22,23,24,25
事務事業名	文化財啓発事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 4 文化・芸術 2 文化財 4 文化財愛護の啓発 1 文化財愛護の啓発	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	50-25-70
		総合計画以外の計画	
		関連する総合計画の施策	
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの（選択的事業）	法定受託事務	無
根拠法令	無		
実施方法	直営	委託先	
実施期間	開 始 昭和36年度	経 過 50年目	終 了 期 間
公約・議会答弁	有	H20.9.4定例会部長答弁（啓発活動推進）	
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	事業等に参加した市民が	～になる	文化財に関心をもつようになります。
事務事業の内容	・文化財保護の普及・啓発を図るため、史跡めぐり、文化財ボランティアの育成、出前授業等を行います。・あおぞら歴史教室として市内・県内の史跡めぐりを年３回開催しています。			
事務事業進捗状況	・平成17年度に土器づくりボランティア養成講座を開催し、18年度は追加募集をして体制を強化し、土器づくり教室を開催しています。・文化財の普及活動として出前講座、サンクスフェスティバルへの参加を行っています。・平成18年度から安祥文化のさとまつり及び子ども考古学講座を開催しています。			
改善・対策の履歴	【平成20年度】あおぞら歴史教室について受益者負担として参加費500円を徴収しました。土器づくり教室の参加を呼びかけるためのチラシを市内小学校５、６年生全員に配布しました。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		11,674	11,616	15,590	15,359	16,055	15,708	1,705
	財 源 計 a		1,358	1,300	1,358	1,127	1,673	1,326	1,705
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	26	27	26	66	25	72	25
		一 般 財 源	1,332	1,273	1,332	1,061	1,648	1,254	1,680
	受 益 者 負 担 金		0	27	26	66	25	72	25
	職 員 人 件 費 d		10,316	10,316	14,232	14,232	14,382	14,382	0
	内 訳	従 事 職 員 数	1.37	1.37	1.89	1.89	1.91	1.91	0.00
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	子ども考古学講座の実施	見込(単位)	10.00	10.00	5.00	0.00
				実績b(単位)	11.00	6.00	4.00	
		指標名(単位)	講座数(件)	活動の総事業費f 実績	4,909	4,098	906	
				単位コストg=f÷b 実績	446.23	682.95	226.58	
	活動②	活動名（活動内容）	出前講座の実施	見込(単位)	20.00	20.00	20.00	0.00
				実績b(単位)	21.00	23.00	28.00	
		指標名(単位)	講座数(件)	活動の総事業費f 実績	828	979	979	
				単位コストg=f÷b 実績	39.44	42.56	34.96	
	活動③	活動名（活動内容）	ボランティアによる土器づくり教室の開催	見込(単位)	700.00	750.00	800.00	0.00
				実績b(単位)	858.00	817.00	988.00	
		指標名(単位)	講座参加者数(人)	活動の総事業費f 実績	276	415	405	
				単位コストg=f÷b 実績	0.32	0.51	0.41	

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	あおぞら歴史教室参加者数(人)	見込(単位)	60.00	60.00	60.00	0.00
			実績(単位)	53.00	58.00	55.00	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値	60.00	目標達成年度	平成27年度		
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		啓発イベント参加者数(人)	見込(単位)	4,000.00	4,000.00	4,000.00	0.00
			実績(単位)	3,527.00	4,066.00	6,637.00	
			達成状況	未達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	・あおぞら歴史教室は、申込は定員を満たしていたが、当日に欠席者が出たため参加者数が減じた。・サンクスフェスティバルに参加することによって、埋蔵文化財センターまで来ない市民層に埋蔵文化財への啓発を行いました。・ボランティアによる土器づくり教室事業が定着しましたが、子どもが来館できる土曜日については美術講座があるときは開催できないため、ＰＲしにくい面と参加者数の増減に影響が出ます。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	子ども考古学講座では、材料を直接購入することで、キットよりも安価に調達しました。また、１回は職員が講師を務めることで報償費を削減しました。
	成果1，2	あおぞら歴史教室の講師について２回は歴史博物館館長等職員を講師とすることで、報酬費を抑制しました。サンクスフェスティバルなどの啓発イベントは、屋外で行うイベントのため天候によっては参加者が減じる可能性があります。安祥文化のさとまつりは、事業内容を見直したことにより来場者数が増えました。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	土器づくりボランティア以外の分野も立ち上げることで、他の啓発事業のコスト削減及び事業拡大を図っていきます。成果について、参加者にアンケートをとるなど市民ニーズを的確に把握し、より効果的な事業を考えていきます。あおぞら歴史教室は、より市民ニーズを把握し、定員割れのないようにしていきます。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	文化財に対する理解を深めてもらうためには、今後最も力を入れていく必要がある分野です。